

草薙ゼミナール

2008 年度 卒業論文集

2009 年 3 月

大阪経済大学 経営情報学部

ビジネス情報学科

指導教員：草薙 信照

草薙ゼミナール 2008年度 卒業論文集

【目次】

指導教員 草薙 信照 2008年度卒業論文集の刊行に寄せて

M055001 荒木 將之 * * * * *

M055014 佐藤 大 阪神大震災被害甚大地区における人口の推移

M055017 新谷 泰飛 スターバックスとドトールの立地に関する考察

M055020 田中 敬樹 神戸市における携帯ショップの立地について

M055023 塚本 有依子 兵庫県と京都府における酒蔵立地分析

M055037 湊 元伸 地方におけるコンビニ店舗の展開について

M055043 若松 尚子 チェーンスーパーマーケットの立地分析

M055047 YIN XIUHAO * * * * *

M055062 下坊 一平 京都市内における無線LANアクセスポイントの分布

M055096 片井 由紀子 日本の少子化の実態と世界の少子化対策

M055097 神原 拓朗 * * * * *

M055104 下田 優介 名張市における人口増加と通勤・通学圏の変化

M055111 中野 貴 道の駅の立地条件に関する分析

M055115 福井 孝昌 大阪市内におけるファーストフード店の展開について

M055120 榊 祐翔 高槻市内におけるファミリーレストランと
ファーストフードの立地条件に関する分析

M055128 輪竹 なつ美 枚方八景の今昔

M055129 有岡 直希 ビッグマック指数からみた各国の経済力

M055149 竹内 猛人 京都市と神戸市における和菓子店・洋菓子店の立地

M055151 立入 綾馬 ラブホテルの立地条件に関する研究

M055167 山村 亮太 畜産物の生産・消費状況から見る都道府県別食文化

「2008年度卒業論文集の刊行に寄せて」

2009年3月

指導教員 草薙 信照

草薙ゼミの第9期生となる諸君は、2005年度から経営情報学部がビジネス情報学科とファイナンス学科の2学科構成となったことから、輝かしき「ビジネス情報学科の第一期卒業生」ということになる。

「データマップ；デジタル地図を通して世界を見てみよう」という看板に集まってくれた諸君に対しては、2年半という時間をかけて“厳しく鍛えてあげよう”と考えたのだが、さて、何人が正面からそれを受け止めてくれたのだろうか。20名（最終的には17名）の諸君とは、ゼミコンパや3年生冬の北海道合宿、4年生秋の鈴鹿合宿などのイベントを通じて、あるいは就職活動期における個別面談等を通じて、信頼関係を築くことができたと思っている。そして、卒論提出が目前になってからは、毎回のように夜遅くまで多くの諸君とゼミ室に残り、切羽詰まりながらもやる気と熱気に包まれた空気を共有できたことを、とてもうれしく思っている。



さて、卒業論文の総評である。ここに並んだテーマだけを見れば、「ビジネス情報学科の第一期卒業生」の名に恥じない素晴らしいラインアップであり、とてもまとまりのある中身の濃い論文集ができあがったと喜んでいる。共通テーマという縛りはあるものの、各人が強い関心を持つテーマを自ら選んだことで、辛い作業に耐え、時には涙を流しながらも、なんとか完成にこぎつけられたのである。このようなテーマについて諸君と一緒に考え議論してきたことは、私にとっても充実した勉強の機会となっており、そういった意味でも諸君には感謝している。

毎年、完成した後だからこそ言うことであるが、私が卒業論文の意義としてもっとも重要だと考えているのは、卒業研究のテーマや論文の出来栄ではない。自分が選んだ1つのテーマに対してこれほど真剣に取り組んで考え、苦勞しながらも論文という形にまとめたということが、間違いなく諸君を大きく成長させたであろうという点である。したがって、一生懸命に取り組んだという姿勢がひしひしと伝わってくる限り、考えていたことの半分しか表現していなくても、あるいは思うような結果を導き出せなかったとしても、その論文は何物にも替え難い貴重な宝物であると言ってあげたい。個々の論文の評価は、その価値を最もよく知っているはずの自分自身、そしてこの本を手にした読者の方々に委ねたいと思う。

大学生活4年間の集大成として卒業研究という大仕事をやり遂げた経験は、必ずや、これから社会人として仕事に携わっていく上での自信につながるだろう。そして10年後あるいは20年後にこの本を開いた時、懐かしく良き思い出として、諸君の心に鮮やかによみがえるに違いない。

今後は同じ社会人として対等に、あるいは時を経て私を導いてくれるようなつきあいをしているならば、教師としてこれにまさる幸せはない。諸君の今後の人生における健闘を期待する。